

農業・農村の多面的機能の持続的発揮に向けた全国シンポジウム 開催概要

1. 開催日時
令和8年 11 月30日(月) 13:30～16:00【1部】
令和8年 12 月1日(火) 09:30～11:55【2部】
※2日間にわたり2部構成で開催。
2. 開催場所
東京都千代田区平河町 2 丁目 7 番4号
砂防会館別館1階(利根大会議室)
※Web 配信も併用。
3. 対 象 者
地域資源の保全活動に携わっている方(多面的機能支払の活動組織や推進組織、ふるさと・水と土指導員、都道府県、市町村、土地改良区等の関係者)、地域資源の保全・活用に関心がある企業関係者、行政関係者、一般の方 等
4. 想定人数
会場 300 人程度、Web 配信 500 回線
5. 趣 旨
多面的機能支払の活動に関する認知度向上、理解促進や、地域資源の保全・活用の推進のため、多面的機能支払交付金の活動組織、一般国民等を対象にシンポジウムを開催する。
また、地域資源の保全・活用に有益な技術を紹介するため、会場には企業のブースを設置する。
6. 次 第

第1部(1日目)午後 開会

来賓挨拶

講演① 講演内容「多面的機能が発揮されている分かりやすい活動事例の紹介」

講演② 講演内容「マッチングにより活動組織の体制強化が図られた事例の紹介」

講演③ 講演内容「事務手続きの簡素化やデジタル技術の活用等の効率化に取り組む事例の紹介①」

講演④ 講演内容「事務手続きの簡素化やデジタル技術の活用等の効率化に取り組む事例の紹介②」

第2部(2日目)午前

講演⑤ 講演内容「都道府県・市町村や活動組織における共同活動の省力化に向けたリモコン草刈機等の省力化技術を活用している優良事例の紹介」

講演⑥ 講演内容「今後の多面的機能支払の活動において活用が期待される先進技術の事例紹介」

パネルディスカッション

テーマ:「新技術を活用した多面的機能支払の活動における省力化・効率化の推進に向けて」

閉会

農村RMOの取組の推進に向けた全国研修会 開催概要

1. 開催日時 令和8年12月1日（火）13：30～16：30

2. 開催場所 砂防会館別館3階 穂高会議室及びWEB配信
東京都千代田区平河町 2-7-4

3. 開催方針

（1）対象者

多面的機能支払の活動組織及び都道府県推進組織の関係者

※会場参加は50名程度を想定。

※会場参加は原則として1組織あたり2名以内。

（2）趣旨等

本研修会は、多面的機能支払の活動組織と農村RMOとの連携等に関する調査・分析結果や先進事例等を共有し、全国の関係者における知見の横展開を図るとともに、活動組織が関係組織と連携して地域課題の解決に取り組む方策を検討することで、活動組織の体制強化と取組の発展を図り、農村RMOの形成促進及び活動強化につなげることを目的とする。

また、地域担当者間での意見交換を通じて、各地域の課題や対応方策について相互理解を深め、今後の取組の推進に資するネットワーク形成及び実践的な検討の場とする。

4. 次第

13:30 開会（冒頭挨拶）全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所長 親泊 安次

13:35 挨拶 農林水産省 多面的機能支払推進室 課長補佐 朝倉 邦友 氏

13:40～14:05 多面的機能支払交付金の活動組織と農村RMOとの連携等に関する調査結果（中間報告）（講演20分、質疑応答5分）
全国土地改良事業団体連合会 企画研究部

14:05～14:30 農村RMOに取り組んだ多面的機能支払の活動組織の事例紹介
または先進的な取組を推進している者からの講演
（講演20分、質疑応答5分）

※ここでweb配信は終了となります。（予定）

14:30～14:40 休憩

14:40～15:50 意見交換会 （9グループ（5～6名）程度）
テーマ「活動組織と地域内の関係組織の連携を通じて、地域課題の解決と活動組織の体制強化を図るためには」

15:50～16:20 成果発表 （各グループ3分程度）

16:20～16:30 講評 全国土地改良事業団体連合会 土地改良研究所長 親泊 安次

16:30 閉会

5. 会場アクセス

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 3 階

